

# 流山市公共下水道事業 事業再々評価(汚水)

平成20年11月  
千葉県流山市

# 流山市の概要

- 流山市は、千葉県の北西部に位置し、北は利根運河、西は江戸川に接する自然豊かな近郊都市です。
- 平成17年8月には、念願であった「つくばエクスプレス」が開通したことで、沿線地区整備の進捗とともに「流山おおたかの森駅」など新たな拠点が姿を見せ、更なる発展が見込まれています。





# 事業の必要性(汚水)



## 【汚水】

- ・生活環境の改善
- ・公共用水域の水質保全





# 下水道事業の概要(汚水)



# 指標1 費用效果分析(污水)

(单位:億円)

便 益 (B)	3,006
費 用 (C)	1,565
費用便益比(B / C)	1.9



## 指標2 事業の進捗状況(汚水)

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込は、事業計画1,664haに対して1,172haを整備し、整備率は70%である。
処理場用地の 取得状況	
処理施設の 供用状況	
供用開始区域の 接続状況	接続率は91%である。
地元情勢等	流山市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

# 指標2 事業の進捗状況(汚水)





## 指標3 社会経済情勢等(汚水)

指標	状況
社会経済情勢	つくばエクスプレス沿線地区土地区画整理事業については、既に計画に見込んでいることから、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。



## 指標4 コスト縮減・代替案(汚水)

指標	状況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用・汚水最小管径( 200 150)・小型マンホールの導入によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

## 対応方針(汚水)案

流山市公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。



# 流山市公共下水道事業 事業再々評価(雨水)

平成20年11月  
千葉県流山市

# 流山市の概要

- 流山市は、千葉県の北西部に位置し、北は利根運河、西は江戸川に接する自然豊かな近郊都市です。
- 平成17年8月には、念願であった「つくばエクスプレス」が開通したことで、沿線地区整備の進捗とともに「流山おおたかの森駅」など新たな拠点が姿を見せ、更なる発展が見込まれています。





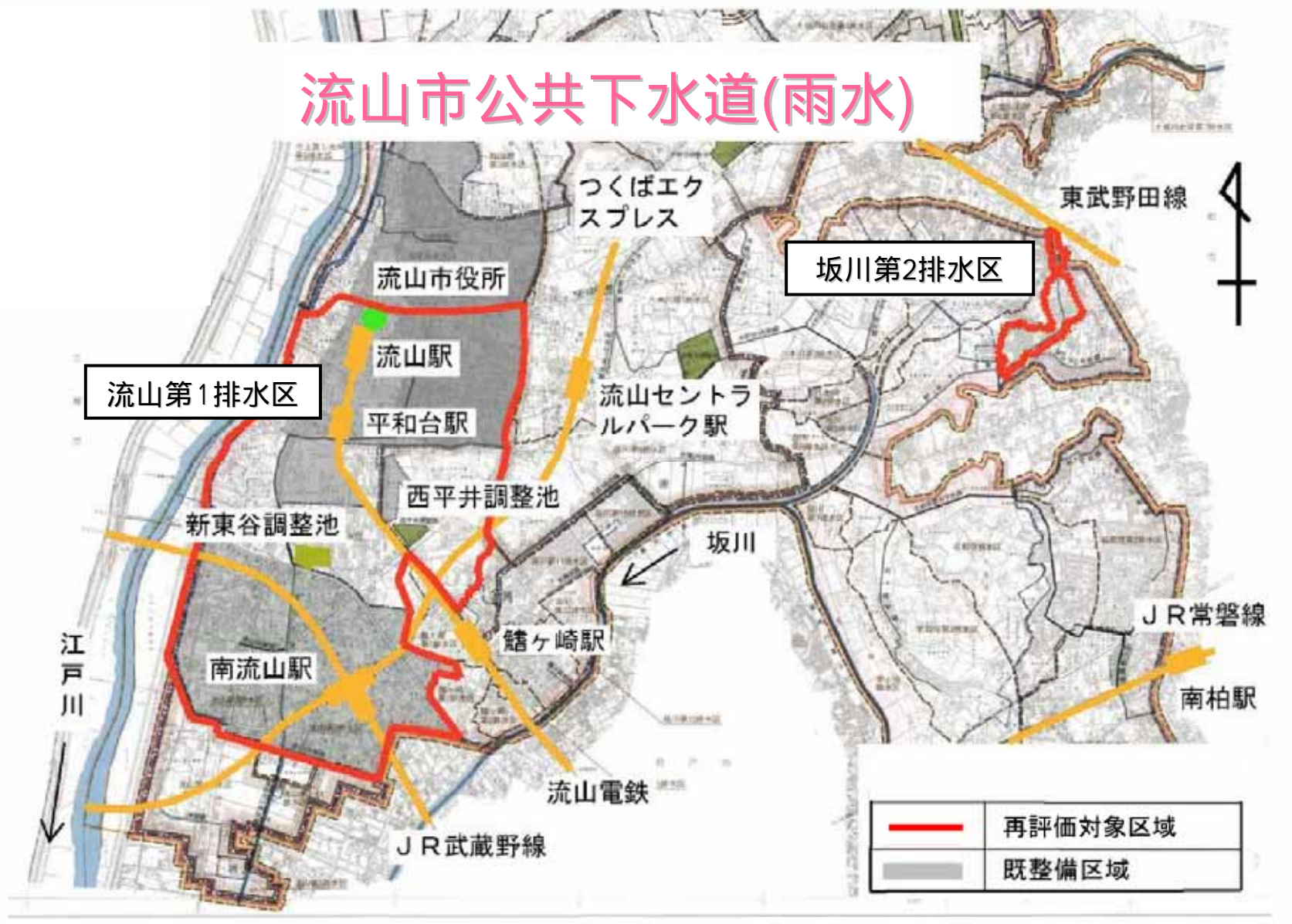
# 事業の必要性(雨水)

## 浸水の状況



# 下水道事業の概要(雨水)

## 流山市公共下水道(雨水)





# 指標1 費用効果分析(雨水)

(単位:億円)

便 益 (B)	773
費 用 (C)	81
費用便益比(B / C)	7.8 ~ 9.7

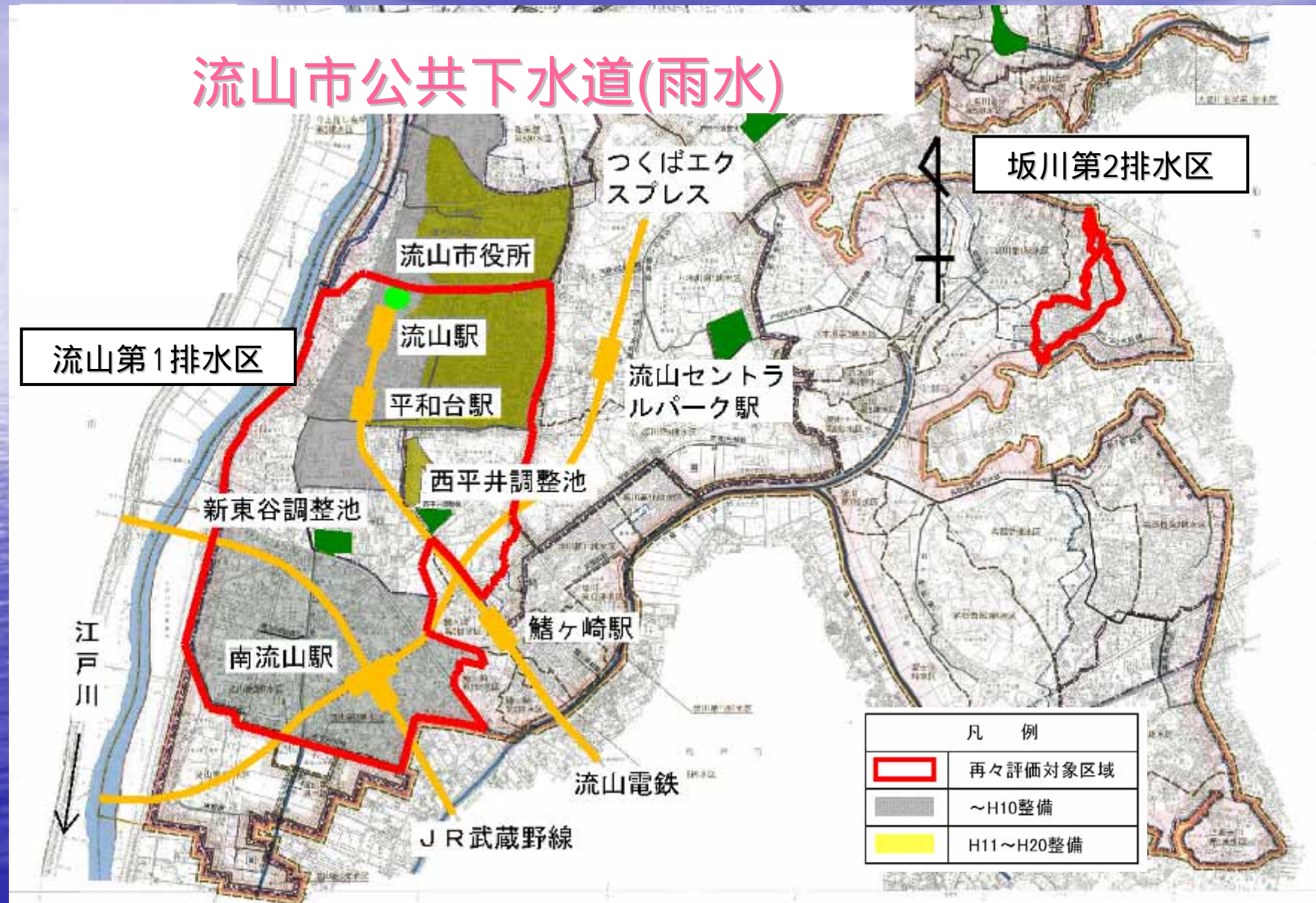
## 指標2 事業の進捗状況(雨水)

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込は、事業計画316haに対して229haを整備し、整備率は72%である。
地元情勢等	流山市議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。



# 指標2 事業の進捗状況(雨水)

## 流山市公共下水道(雨水)



## 指標3 社会経済情勢等(雨水)

指標	状況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。



## 指標4 コスト縮減(雨水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。

## 対応方針(雨水)案

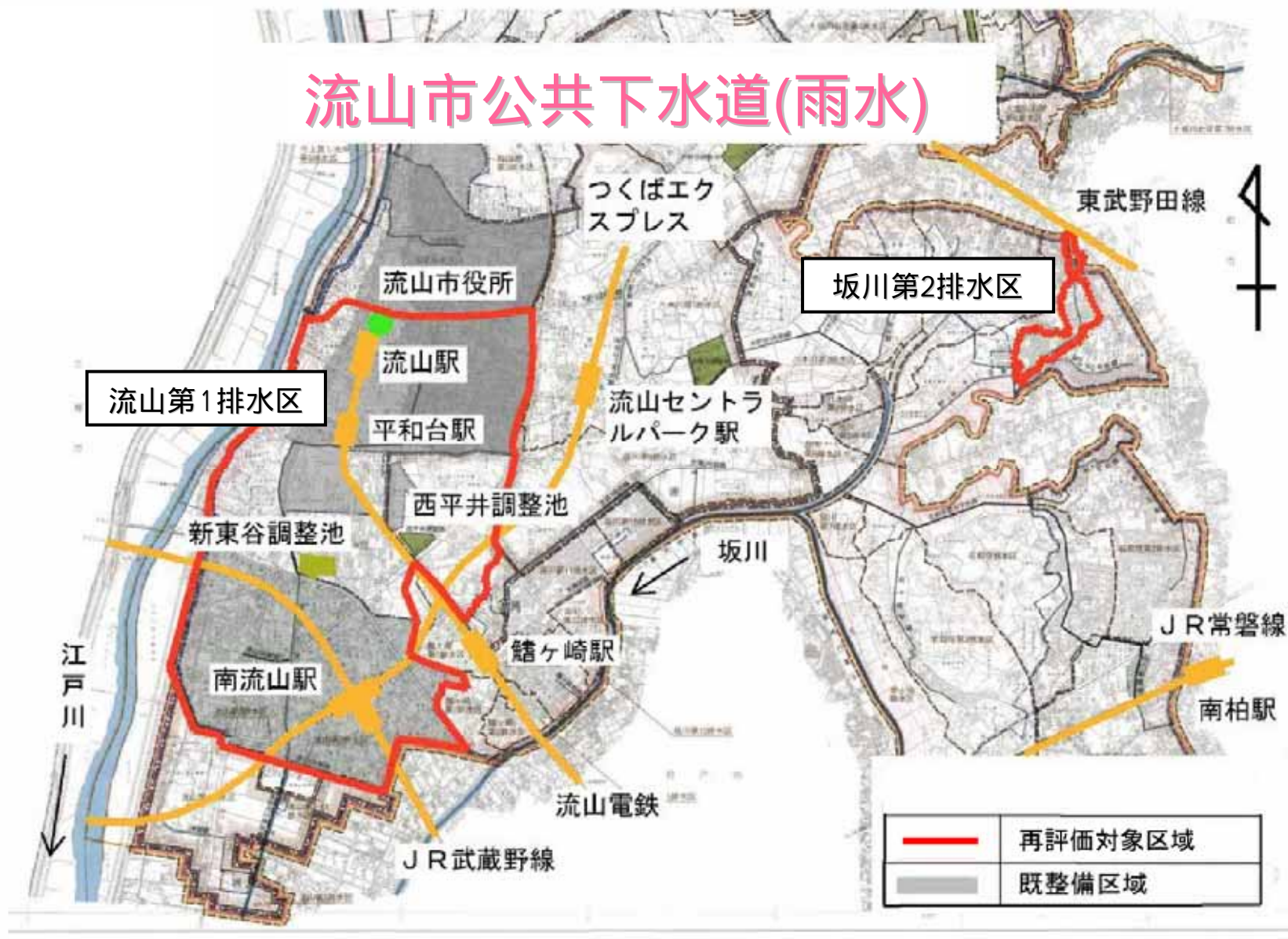
流山市公共下水道事業(雨水)については、今後も引続き整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。



# 補足資料

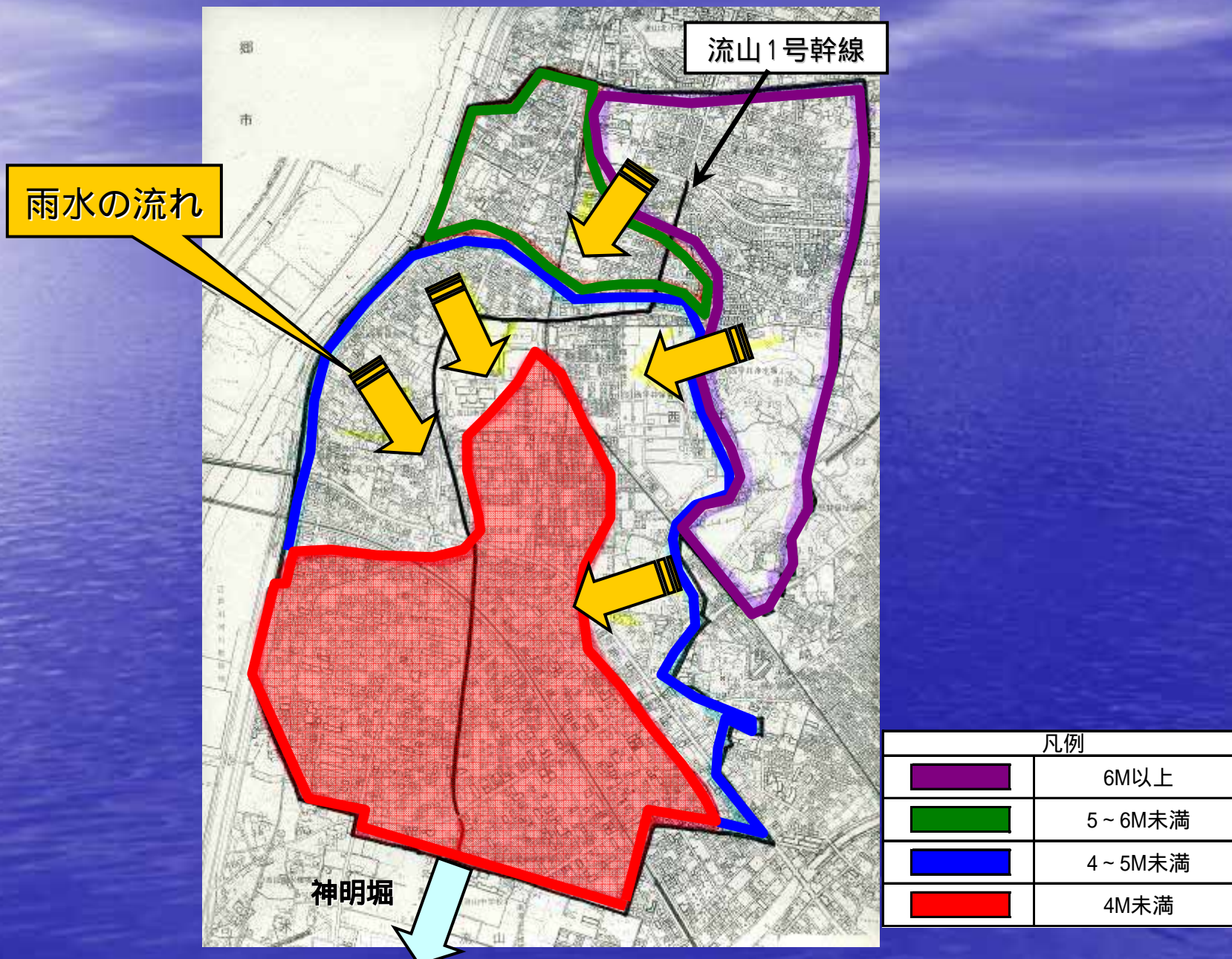
# 流山第1排水区の位置

## 流山市公共下水道(雨水)





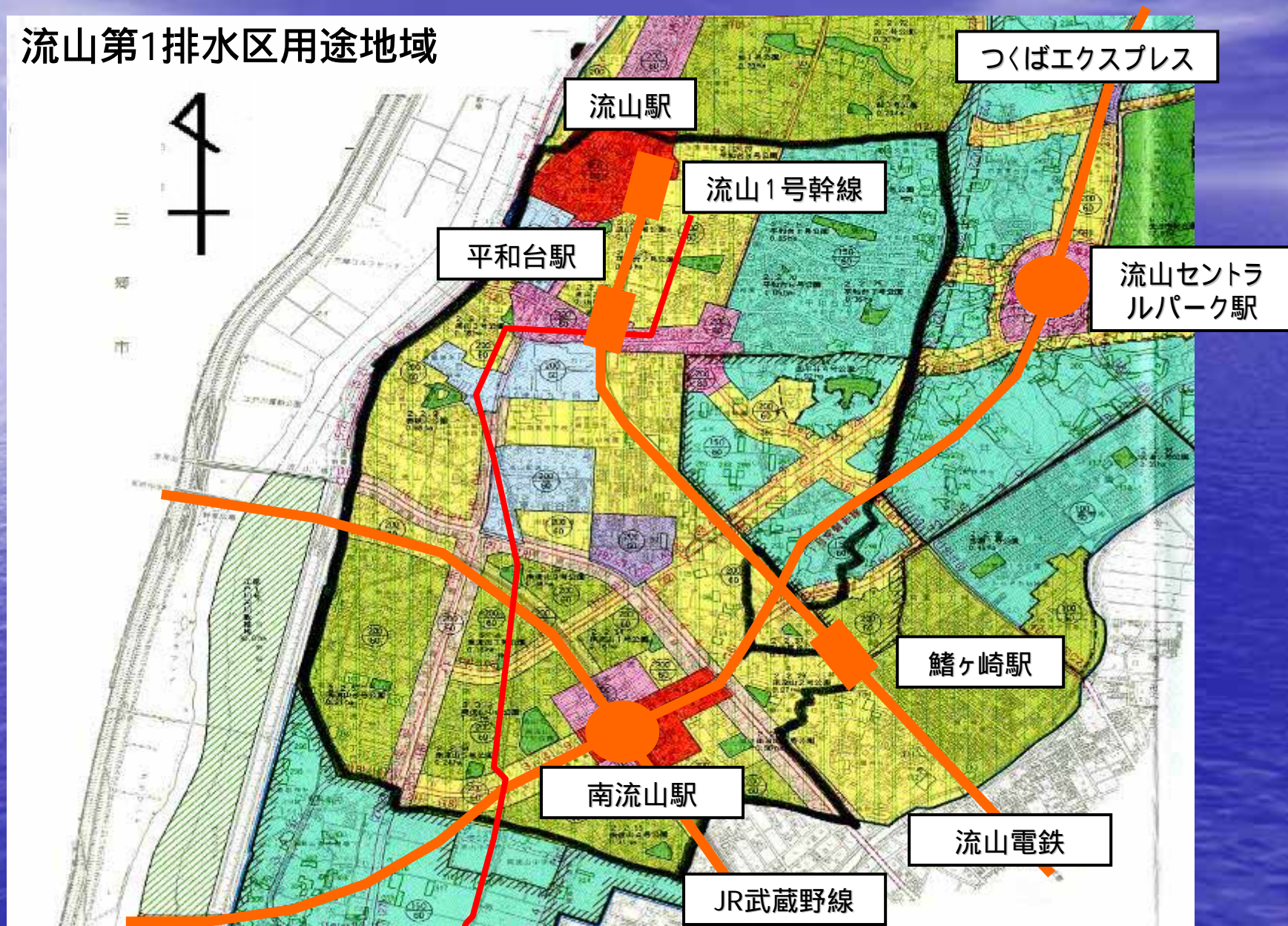
# 流山第1排水区の地形





# 土地利用状況

流山第1排水区用途地域





# 事業着手時南流山地区

事業着手時は大半が田畑。



事業が容易で、事業費が低い。



# 現況南流山地区

現在は、JR武蔵野線・つくばエクスプレス南流山駅に近接するため、商業施設及び住宅地が密集している。



下水道整備による浸水被害軽減効果が高い。





# 流山第1排水区 (B/C = 9.7) について

雨水事業で費用便益比が**高い**理由は



管渠整備費(コスト)が低い。  
浸水被害額が高い。

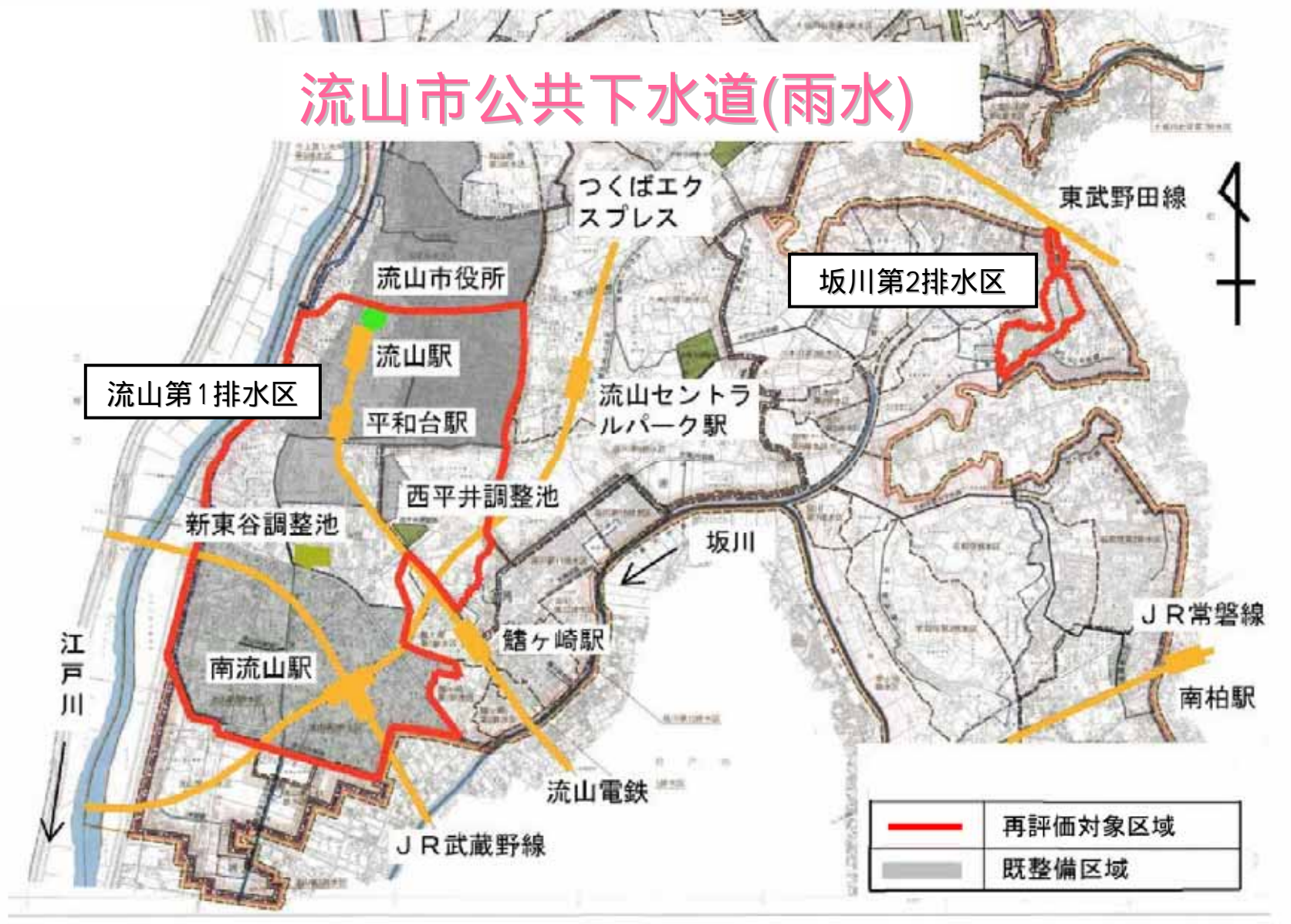
総費用 : 73億円

総便益 : 711億円

費用便益費 : 9.7

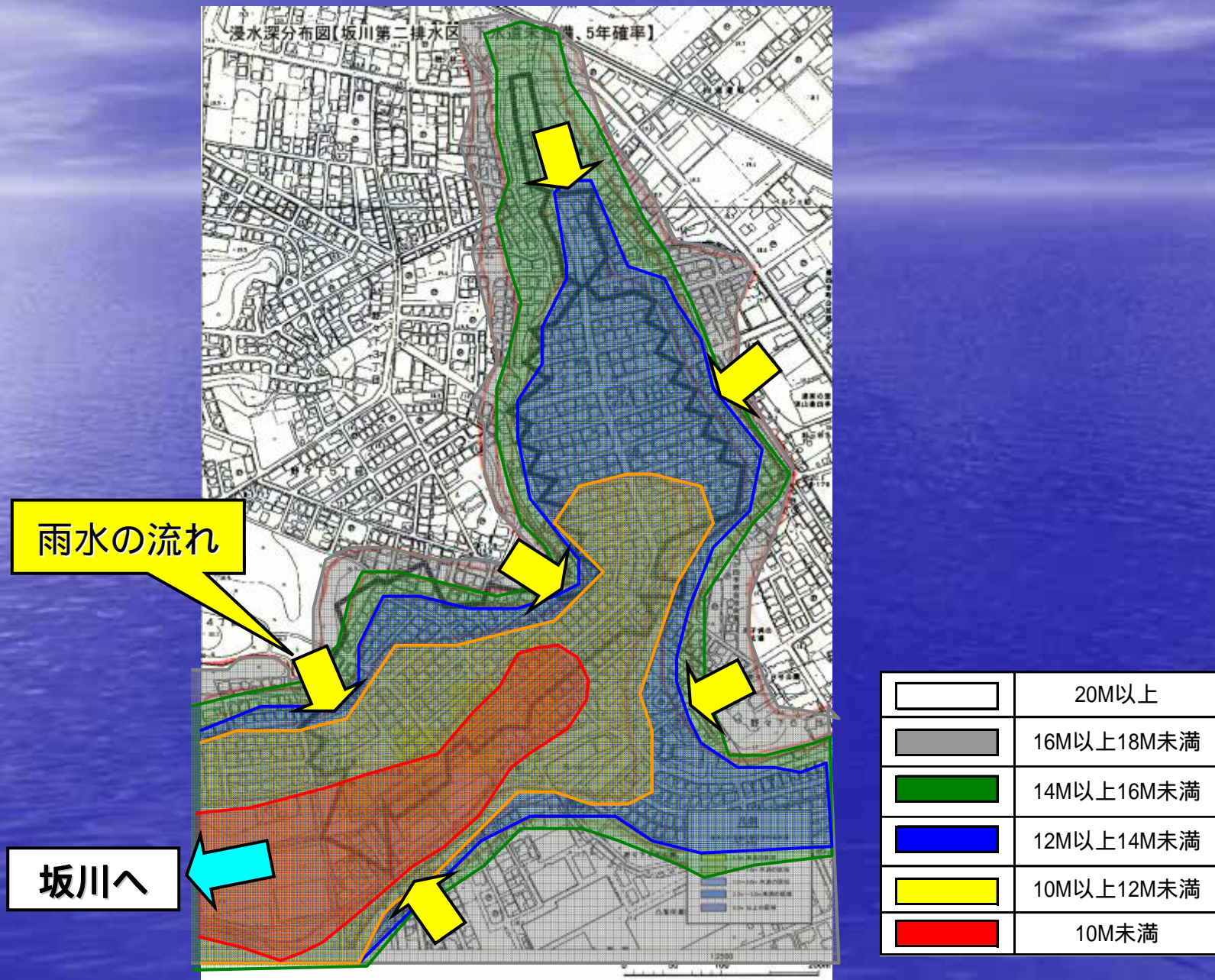
# 坂川第2排水区の位置

## 流山市公共下水道(雨水)





# 野々下4、5丁目の地形



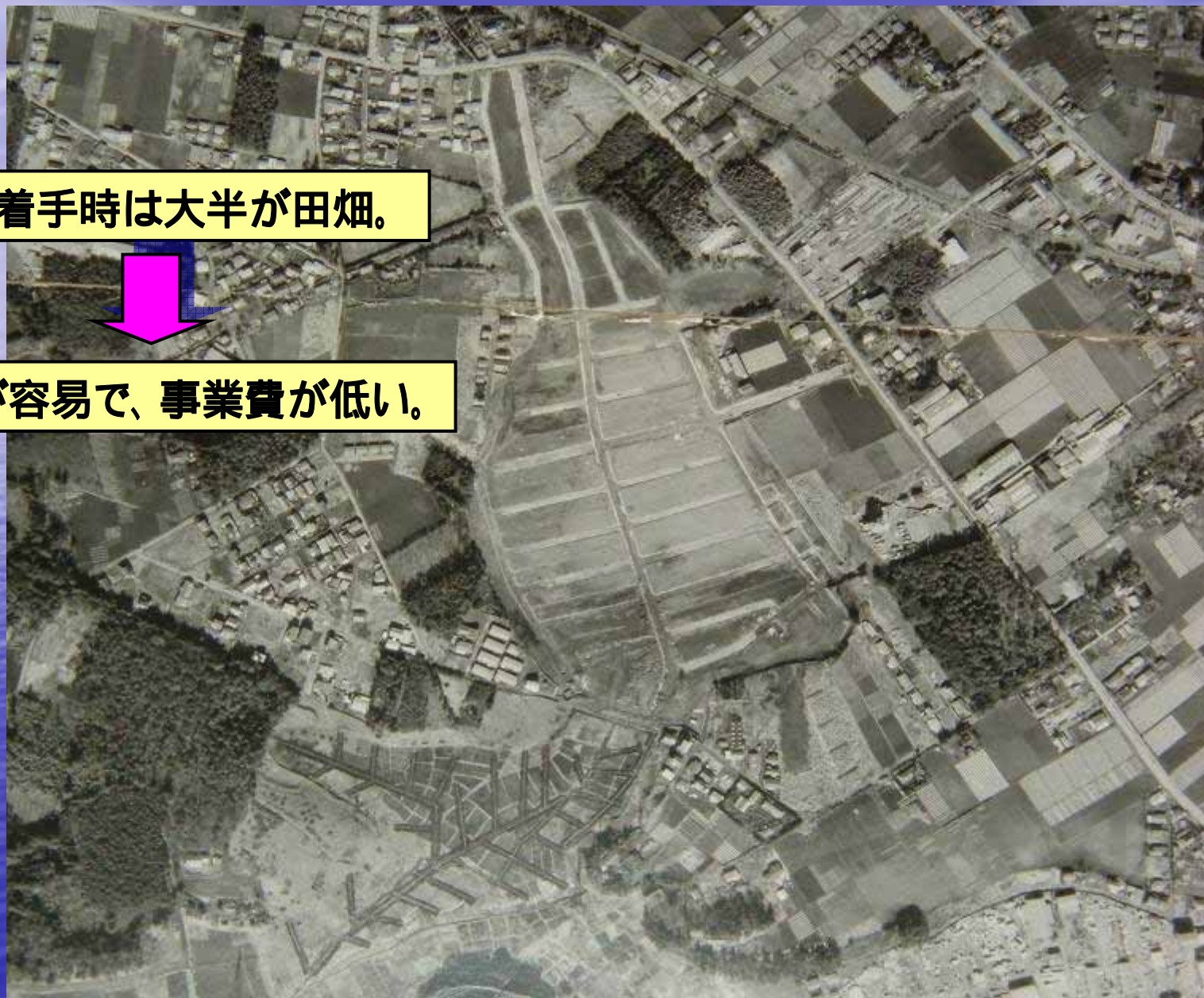


# 事業着手時野々下4、5丁目

事業着手時は大半が田畑。



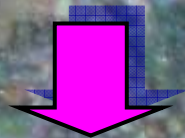
事業が容易で、事業費が低い。



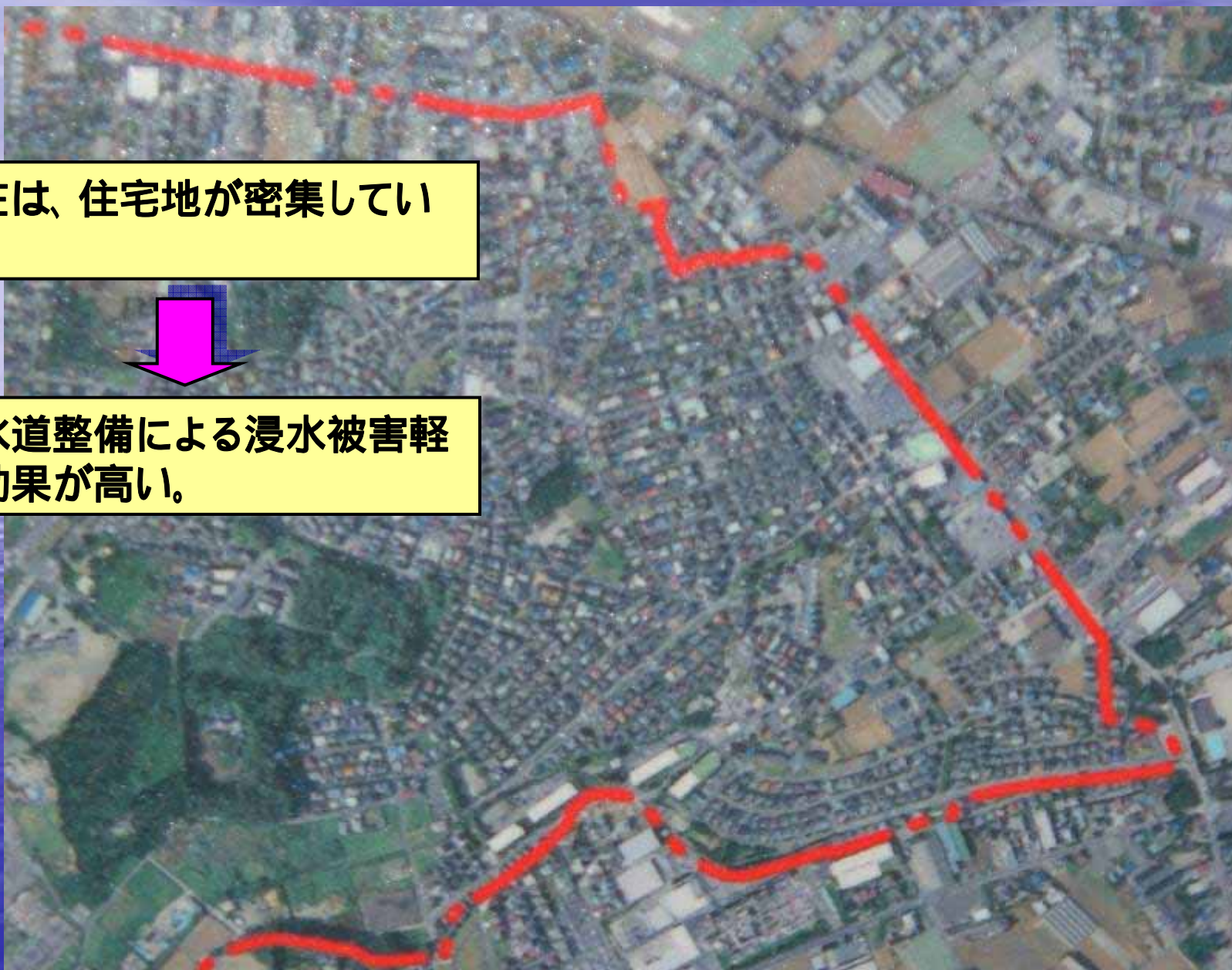


# 現況野々下4、5丁目

現在は、住宅地が密集している。



下水道整備による浸水被害軽減効果が高い。



# 坂川第2排水区 (B/C = 7.8) について

雨水事業で費用便益比が**高い**理由は



管渠整備費(コスト)が低い。  
浸水被害額が高い。

総費用 : 8億円

総便益 : 62億円

費用便益費 : 7.8



# 総括表

## 現行人口フレームによる数値

計画人口:162,000人

市町村名	汚水・雨水	処理区名 排水区名	全体計画 事業費 (億円)	B/Cにおける費用 (億円)	B/Cにおける便益 (億円)	B/C	B/Cにおける 工事終了年度
流山市	汚水	江戸川左岸処理区	865	1,602	3,008	1.9	平成49年度
流山市	雨水	流山第一排水区	54	73	711	9.7	平成28年度
流山市	雨水	坂川第二排水区	9	8	62	7.8	平成26年度

## 新人口フレームによる数値

計画人口:144,300人

市町村名	汚水・雨水	処理区名 排水区名	全体計画 事業費 (億円)	B/Cにおける費用 (億円)	B/Cにおける便益 (億円)	B/C	B/Cにおける 工事終了年度
流山市	汚水	江戸川左岸処理区	865	1,602	2,795	1.7	平成49年度
流山市	雨水	流山第一排水区	54	73	633	8.7	平成28年度
流山市	雨水	坂川第二排水区	9	8	55	6.9	平成26年度

図 整備実績面積と事業計画面積の推移(汚水)

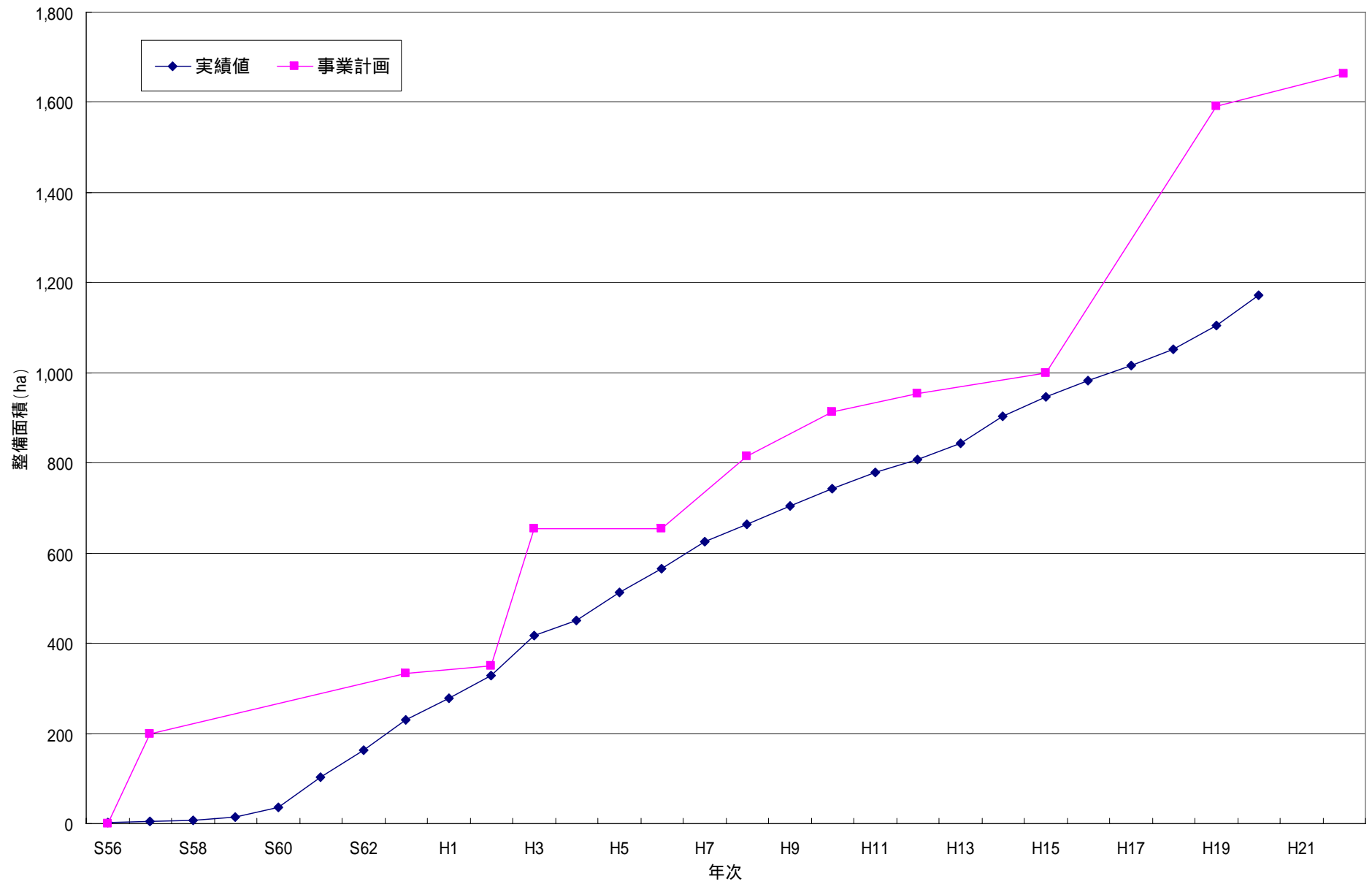




図 整備実績面積と事業計画面積の推移(雨水)

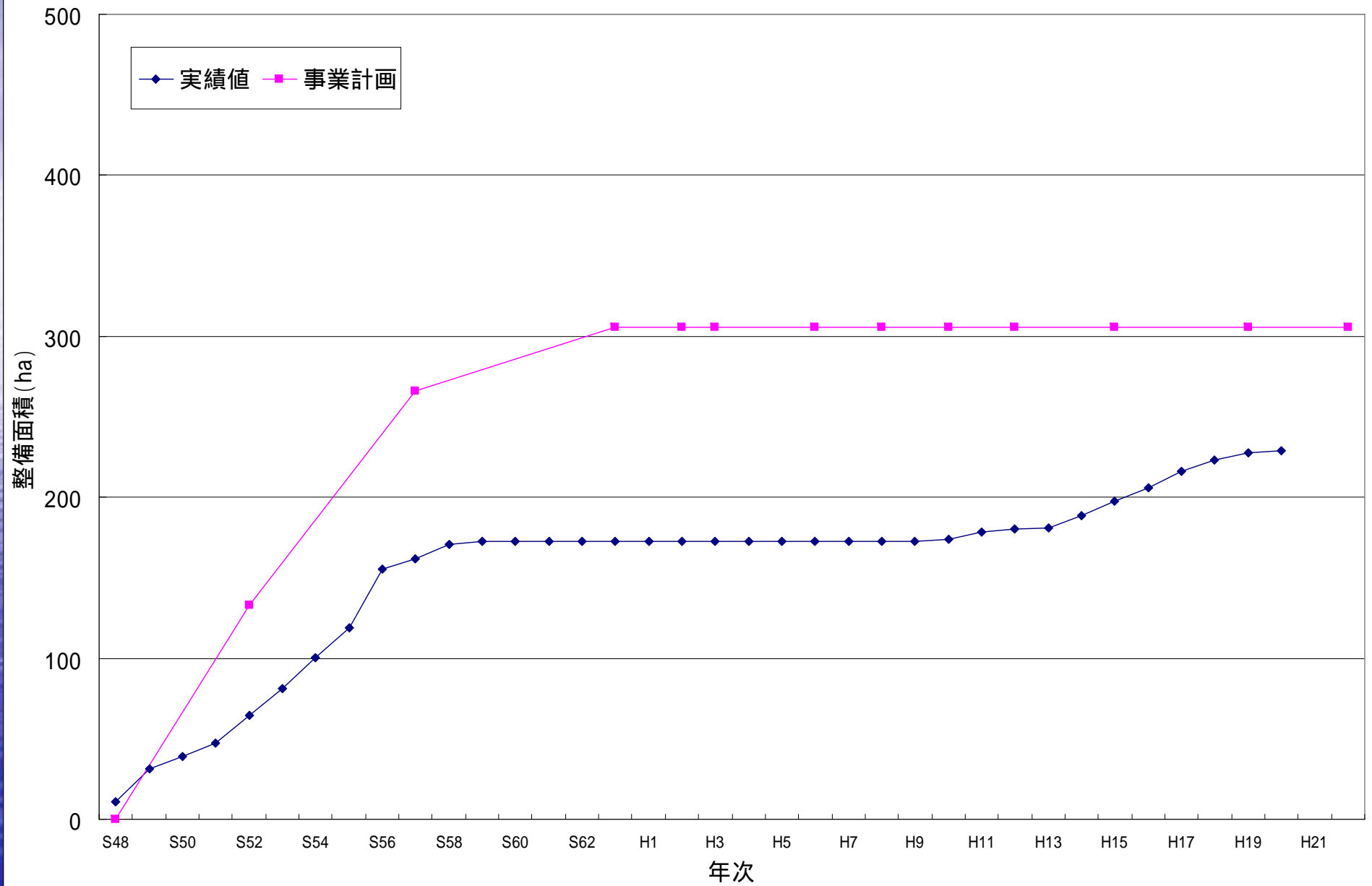


図 汚水投資額(累計)と事業計画汚水投資額(用地費含む)

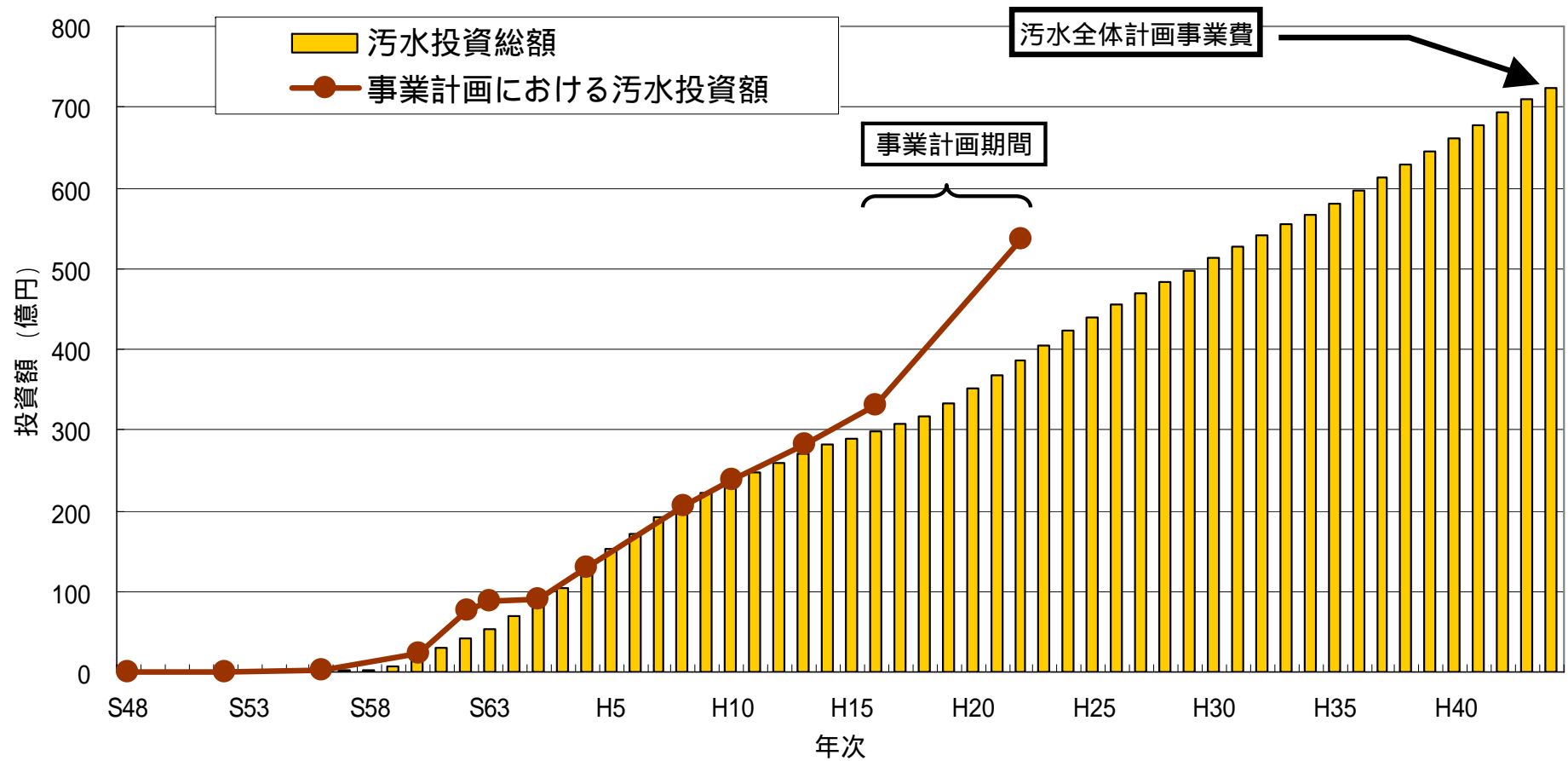




図 雨水投資額(累計)と事業計画雨水投資額(用地費含む)

